

団体名		公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター			
①	指標名	会員数及び会員就業率		目標値	会員数 1,105人 就業率 81.8%
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(過去の実績についての説明)
	(単位:人、%)	1,095、80.5	1,085、80.7	1,106、76.7	当該年度最終日の会員数、就業率
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(1) 経営健全性の確保		
事業	設定理由等	シルバー人材センターでは、令和4年度に「第五期中期計画(2023~2027年度)」を策定し、重点的な取り組みの一つとして「会員の増強」を掲げている。目標数値については、計画期間の終了年次にコロナ前水準の値となるよう、各年度の値を設定している。令和6年度は会員数1,105人、就業率81.8%を目標値としており、これを本経営目標の目標値とした。			
	取組内容	令和5年度からの5か年計画及び令和6年度事業計画に基づき、新規会員入会増加および在会会員の定着、就業率の拡大への取組みを検討し、実施していく。主な予定事業は以下のとおり。 (会員数の拡大) ①武蔵野市在住の60歳以上の方へのセンターの活動状況の発信とPR(紹介イベントの実施、チラシの全戸配布、各種イベントへの出展等) ②ハローワーク、就労関係団体との連携(高齢者で仕事を希望する方に対し、各団体の情報を相互に提供する仕組みの検討) ③入会説明会の実施、出張入会説明会の拡大 (就業率の拡大) ④新入会員ができるだけ早く就業できるよう、個別相談会を実施 ⑤就業ニュースを通して会員に就業情報を提供 ⑥会員の能力、体力、希望する就業の研究、就業会員不足事業への対策の検討			
②	指標名	事業契約額(請負・委託事業、派遣事業等)		目標値	375,783千円
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(過去の実績についての説明)
	(単位:千円)	391,938	391,830	367,626	当該年度の実績
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(1) 経営健全性の確保		
財務	設定理由等	シルバー人材センターでは、令和4年度に「第五期中期計画(2023~2027年度)」を策定し、数値目標を定めている。この数字は、コロナの影響と、インボイス制度への対応、最低賃金の上昇に伴う配分金の上昇等を加味したうえで、経営努力目標として積算したものである。2年度目の令和6年度の数値は、最低賃金の上昇に伴い価格交渉をした結果、前年度より増額した契約金額の増加を見込んだ数字としている。			
	取組内容	契約額の増のためには就業先拡大及び着実な就業が必要である。 ・業務依頼の相談があった場合は、シルバー人材センターで受けられる形での契約が可能となるように、発注者との入念な調整を行い、できるだけ多くの契約の成立を目指す。 ・理事会、各委員会で終業品質の向上及び就業拡大のための施策を検討し実施する。 ・シルバー事業の信頼性を高めるため、 ①事務局において、発注者との事務手続きサービスの品質の向上を図る。 ②研修等を通じ、会員が望まれるサービスや就業の品質向上を目指す支援をする。			
③	指標名	職員配置の適正化及び超過勤務の削減		目標値	前年度以下
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(過去の実績についての説明)
	(単位:時間/年)	4,429	4,144	2,394	当該年度の実績
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(6) 組織・職員数等の適正化と目的・目標達成に向けた効率的運営の推進		
管理部	設定理由等	職員の休職や退職等に伴い、業務分担の偏りや人員に対する負担増が生じていた。令和6年度当初においても正規職員が1名欠員である。業務の行為率化を図りながら、必要な人材を補充する必要がある。職員の負担について測るため超過勤務時間を指標とし、前年度を下回ることを目標値に設定した。			
	取組内容	・業務内容の効率化により、超過勤務時間の削減を図る。 ・担当業務についての適正化を図る。 ・効率化したうえで業務遂行に必要な人員を補充する。 ・経験年数の浅い職員については必要な研修や指導を行い、さらに有力な戦力となるよう職場全体で支援する。 ・欠員については補充し、定着を図る。			